

第119回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2022年3月2日（水） 18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 19名

3 会議内容

<新規提案>

（1）プラモデルを作る会 何からはじまるプラモデル

【概要】

参加者が持参したプラモデルをみんなでつくるプラモデルの製作会を開催したい。

好きな物や共通のテーマがあれば、会話や交流が生まれやすく、そういったイベントにしたい。

（2）こと×プラコンテスト

【概要】

製作会の受け皿になるようなイベントとして、製作と作文を合わせたコンテストを開きたい。

上手さを競うコンテストではなく、思いがこもった作品を集めたい。

4月～9月上旬まで作品を募集し、1カ月程度展示、また投票してもらいたいと考えている。

プラモデルを見ても、何を基準に投票していいかわからない人もいると思う。せっかく「ことば蔵」で開催するので、ことば（作文）と組み合わせたいと考えた。

【意見】

・昨年に続いて2回目となるが、大変な点などはあったか。

→写真のブレの軽減作業などは全て企画者で行ったが、ある程度準備期間があれば問題ない。

・プラモデルと作文を組み合わせたコンテストは初めて聞いた。

・前回の感想や手ごたえを聞きたい。

→作文があることで、何を頑張ったのか後で見返すことができたといった声があった。また、投票する側もやはり文章があった方が分かりやすいという声が多かった。

・作文を書いて楽しかったという声が多かったのは嬉しい。

(3) 2分で心をうるおす名曲セラピー

【概要】

自身が書いた本（イベントタイトル）を通して、心が軽くなるヒントを伝える企画がしたい。本には、日本の名曲の歌詞をピックアップし、カウンセラーの立場から心を潤すようなメッセージを書いている。

開催時期は問わない。参加人数や年齢層に合わせて、曲をピックアップすることができる。

【意見】

・実際にことば蔵で曲をかけるのか。

→曲はかけない。著作権の関係もあるので、レジュメを配って説明したい。

・聞きたくなった曲は、参加者が自分で聞くことができる時代だと思う。

・一番イベントに参加して欲しい年代はあるのか。

→年代は問わないが、参加してくれた人に癒しを与えることができたらいい。

・参加者は、話を聞くだけになるのか。話し合ったりする機会はあるのか。

→せっかく交流フロアなので、参加者同士の交流が生まれたらよいかなど感じた。

・歌詞のどの部分に共感したのかを話し合えば、意見交換しやすいのではないかと。

(4) ことば蔵で風流を

【概要】

邦楽演奏と講演を合わせたイベントを開催したい。

前半部分の邦楽演奏は、箏と尺八で数曲演奏したい。

講演は郷土史研究家の森本啓一さんにサムエル・ウルマンの詩については話してもらいたい。

【意見】

・演奏ももちろんだが、講演もいつも楽しみにしている。

(5) 朗読会

【概要】

図書館で朗読のイベントを開催したい。

田辺聖子さんの命日がある6月には「ひねくれ一茶」の1章などを読みたい。

朗読は環境に左右されやすいので、まずは一度フロアでやってみたいと思っている。

【意見】

・ぜひことば蔵でやってほしいイベントだと感じた。

・音楽関係の人とのコラボもぜひ聞いてみたい。

・普段朗読をする時は、バックミュージックなどを流すのか。

→著作権フリーの音楽を流すことは多い。曲を流すのは最初・終わり・章と章の間の休憩などが多い。

<イベント実施報告>

(1) 今と昔おむつ交流会

- ・布おむつや紙おむつ、それぞれの良さや大変さなどを話題にした交流会を開いた。
- ・3組の親子から90歳の方まで、11人の参加があり、考えていたような多世代交流ができた。

(2) 北中トライやる・ウィーク報告会

- ・従来の職業体験に代えて、今年度は事業所を訪問し、ポスターを作成するという地域貢献活動を実施。そこで生徒たちが何を学んだのか、報告会と意見交換会をことば蔵でも行った。
- ・生徒もいい経験になったと思うし、地域との充実した意見交換ができた。参加者：18人。

(3) 平和の大切さを語り継ぐ

- ・朝鮮からの引き揚げ体験を語ってもらう講演会を開催。本来8月に開催する予定であったが、緊急事態宣言で延期となっていた。参加者は15名。
- ・戦争は絶対にしてはならないというまとめが、参加者の心に響いているようだった。

(4) 漫画を語ろう！

- ・参加者は4名。テーマは恋愛漫画だったが、男女比は男性の方が多かった。
- ・次回は3月23日(水)18時30分～ テーマ「良さを知ってほしい漫画」で開催。

(5) キッズ・サバイバー講座(地震編)

- ・小学生とその保護者を対象とした防災講座。簡単な事、できることから始めることの大切さを伝えることができた。参加者は9名だった。
- ・イベント後に参加してくれた家族からの反応があり、嬉しかった。

(6) もったいない月間

2月のもったいない月間に合わせて様々なイベントを開催した。

- ・リユースコーナーでは、10点のリユース品に対して70人ぐらいの応募があった。
- ・市民講座「再利用和紙でエコバッグ」では、もう使えなくなった和紙を利用したエコバッグづくりを市民に楽しんでもらった。
- ・クリーンランド出前講座では、クイズや紙芝居を通して環境について考えることができた。
- ・おもちゃ病院は、3組8件の修理依頼があった。

4 次回の運営会議 **2022年4月6日(水) 18:30～** ことば蔵1階 交流フロア